



# 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.3.19

No. 3559

# 325万人へ

## 清算事業団闘争勝利 92春闘に勝利しよる

清算事業団闘争中労委和解策動粉砕・  
九二春闘勝利三・二五ストに立ちあが  
ろう！

闘争団の解体＝国労の連合化へと直結  
する、中労委会長見解による年度内決着  
「和解」は断固阻止しなければならない。  
その「解決案」の基本にあるものは、

①、国鉄改革法にふれない。②、地労委  
命令を棚上げにして、行うと言うもので  
ある。どのような中身になるのかわかる  
うと言ふものだ。

情勢は緊迫度を深めている。  
われわれは、再度身を引き締めて清算  
事業団闘争の意義を確認しよう！

国家的不当労働行為によって清算事業  
団に追いやられた、事業団労働者に対し  
て二度目の首切りを行ってから二年、動  
労千葉争議団・国労闘争団の仲間は、砂  
を噛む思いで、時にアルバイトで生活の  
糧を得、そして物販運動を通して採用差  
別＝国鉄労働運動破壊攻撃の実態を暴き、  
広範な支援・連帯の輪を作ってきた。

こうした力を背景にして、百件にも及  
ぶ地労委勝利命令を獲得してきたのだ。  
「JR体制」が崩壊を開始した今日こ  
そ、清算事業団闘争の真価が全社会的に  
大きな潮流となる地位をしめることとな  
らなければならないはずである。

そしてこの潮流こそが、連合に代表さ  
れる労働運動の右傾化にストップをかけ、  
日本労働運動の戦闘的再生を勝ちとれる

キーポイントを握っているのだ。  
「戦後政治の総決算」攻撃という、支  
配階級が全体重をかけて行った、国鉄「  
分割・民営化」は、いまや完全に破産し  
ている。

再度述べることもないが、バブル経済  
に立脚したものであったがために、「バ  
ブル」崩壊の直撃を受け、リース方式に  
した新幹線(本来ならJRの資産である  
はずの)をJR各社に買い取らせたこと  
によって、経営の悪化は必至である。

今度は「ヤミ・カラ」とはさすがに言  
えない。JR以降後まがりなりにも黒字  
経営をしているだけに、社員が働かない  
からとも言えない。

総務庁行政監察「JR五万人体制」  
というシナリオは、崩壊した分割・民営

化体制を「解決」させるために、大変な  
労働強化と大量首切り攻撃に討つてで  
きたと言ふことなのだ。

歴史は繰り返す。  
物語の発端はどこにあるのか？  
そう、あの忌まわしき「六二・四・一」  
なのだ。

であるがゆえに、清算事業団闘争の勝  
利なくして、「JR五万人体制」攻撃に  
打ち勝つ道は無いと言える。

そして、この闘いが直接九二春闘の勝  
利へと結びつく闘いなのだ。  
動労千葉は、実質的な国労連帯を勝ち  
とり、全解雇者の奪還、奪われた権利・  
労働条件の獲得に向けて三・二五ストに  
決起する。

反転攻勢に拍車をかけよう！

# 勝利

## 動労水戸、不当配転撤回を勝訴

### JRの配転は不当労働行為

動労水戸組合員 初めての司法判断  
の訴えを認める

水戸地裁

「配転は組合員を強  
制して不当労働行為とし  
て、国鉄水戸動力労働組  
合(動労水戸、三十七人)  
の組合員三人が、現日本  
会社・東武を相手取り、  
地位回復を求めた訴訟、  
判決は国鉄時代の配転に  
しては請求を棄却したもの  
が、JR配転後の配転につ  
いては、全国の各職場労働者

反戦・反核を担う労働運動を！ 反合・運転保安確立！